

第3節 保健医療

1 医務

(1) 許認可・監視事業

病院、診療所、助産所、施術所等の開設許可や届出事務を行うとともに、これら施設の監視指導を行っている。

① 病院等施設数 (平成26年3月末現在)

平成25年3月末現在と比較すると、施設数の総数で15施設増加している。

(内訳) 一般診療所：6施設増 歯科診療所：1施設増 助産所：2施設増
 施術所：4施設増 歯科技工所：2施設増

年度	総数	病院	一般診療所	歯科診療所	助産所	施術所	歯科技工所	衛生検査所
24	758	15	275	139	14	246	66	3
25	773	15	281	140	16	250	68	3

② 病院許可病床数 (平成26年3月末現在)

平成25年3月末現在と比較すると、精神病床が6床減少している。

病床数(一般及び療養)については、滋賀県保健医療計画による基準病床数(2,935床)を超えている状態である。

区分	病院数	許可病床数					
		精神病床	感染症病床	結核病床	一般病床	療養病床	
総数	15	4,142	950	8	47	2,481	656
開設者							
国立大学法人	1	614	45	-	-	569	-
市	1	506	-	8	10	488	-
日本赤十字社	2	974	40	-	-	884	50
公益法人	1	325	-	-	37	288	-
医療法人	8	1,638	865	-	-	191	582
会社	-	-	-	-	-	-	-
個人	2	85	-	-	-	61	24
その他	-	-	-	-	-	-	-

③ 診療所・助産所施設数及び許可病床数 (平成26年3月末現在)

有床診療所の施設数及び許可病床数については、平成25年3月末現在と比較すると、1施設増加(15床増)している。

区分	総数	施設数		許可病床数	
		一般診療所	助産所	一般病床	療養病床
一般診療所	281	137	120	17	
有床診療所(再掲)	15	137	120	17	
無床診療所(再掲)	266	-	-	-	
歯科診療所	140	-	-	-	
助産所	16	-	-	-	

④ 医療機関からの申請・届出状況

各種申請・届出の審査を行い、医療法及び関係法令の遵守を指導し、適切な医療提供体制の確保を図っている。

申請種別 施設区分	施設数	開設許可	変更許可	使用許可	管理者専任・兼任許可	開設届	変更届	廃止・休止届	放射線届
病院（県へ進達）	15	—	15	10	—	—	19	—	22
一般診療所	281	24	3	1	2	32	85	26	76
有床診療所（再掲）	15	1	1	1	—	1	80	—	2
無床診療所（再掲）	266	23	2	—	2	31	5	26	74
歯科診療所	140	1	—	—	—	4	19	3	19
助産所	16	—	—	—	—	2	—	—	—

⑤ 医療機関の監視指導状況

1) 立入検査

医療法及び関係法令に規定された人員及び構造設備の確保や適正な管理を行っているかについて、病院は毎年、有床診療所は3年に1回立入検査を実施している。

A. 立入検査実施状況

区 分	施設数	立入件数	文書指導件数	口頭指導件数
病院	15	15	5	109
有床診療所	15	5	11	60

2) 実地検査

医療法に基づく届出等に関し、構造設備等が適正であるかについて確認している。

B. 実地検査実施状況

区 分	施設数	実地件数	放射線関連構造設備等確認件数（再掲）
病院	15	11	6
一般診療所	281	37	20
歯科診療所	140	15	11
助産所	16	—	—

⑥ 施術所・歯科技工所からの届出及び監視指導状況

開設届、変更届等の審査を行い、関係法令の遵守を指導するとともに、構造設備等について立入検査を実施している。

届出種別 施設区分	施設数	開設届	変更届	廃止届	立入件数
施術所	250	20	28	15	65
あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう（再掲）	157	11	13	9	39
柔道整復（再掲）	93	9	15	6	26
歯科技工所	68	5	1	3	5

⑦ 衛生検査所からの新規登録申請・届出及び監視指導状況

各種申請等の審査を行い、法令の遵守を指導するとともに、構造設備又は精度管理について、概ね2年に1回立入検査を実施している。

区 分	施設数	新規登録申請	変更届	廃止届	立入件数
衛生検査所	3	—	1	—	—

(2) 医療従事者の免許の交付申請に関する事務

医療従事者に関する免許申請等について、滋賀県への経由事務を行っている。

区分	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	
新規	48	12	26	75	6	204	
書換え	14	2	19	30	6	120	
再交付他	7	-	1	3	-	9	
区分	臨床検査技師	診療放射線技師	理学療法士	作業療法士	視能訓練士	歯科技工士	合計
新規	1	3	28	9	2	4	418
書換え	6	1	10	2	-	3	213
再交付他	-	-	1	-	-	-	21

(3) 医療統計に関する事務

厚生労働省等が所管する各種統計業務の中で、医療統計について、調査機関として実施している。

調査名	実施状況（実施年）	摘要
医療施設動態調査	毎月	医療施設の開設、廃止、変更 等
医療施設静態調査	3年に1回（平成23年度実施）	病床数、従事者数、設備 等
病院報告	患者票	毎月
	従事者票	毎年
医師・歯科医師・薬剤師調査	2年に1回（平成24年度実施）	氏名、住所、従事先の名称 等
看護師等業務従事者調査 （実施主体は滋賀県）	2年に1回（平成24年度実施）	氏名、住所、従事先の名称 等
患者調査	3年に1回（平成23年度実施）	患者の傷病の状況 等
受療行動調査	3年に1回（平成23年度実施）	受療の状況、満足度 等

① 医療従事者調査状況（平成24年12月末現在。「医師・歯科医師・薬剤師調査」及び「看護師等業務従事者調査」による。）

（単位：人）

区分	従事者数		従事者数	
医師	総数	1,195	看護師	3,254
	（再掲）医療施設の従事者	1,123	保健師	98
歯科医師	総数	220	助産師	131
	（再掲）医療施設の従事者	214	准看護師	458
薬剤師	総数	785	歯科衛生士	268
	（再掲）医療施設の従事者	602	歯科技工士	93

（注）1. 医師、歯科医師、薬剤師の総数は、大津市内在住の免許所有者の数である。

2. 看護師、保健師、助産師、准看護師、歯科衛生士、歯科技工士については、大津市内の就業者数である。

② 病院 医療関係従事者数（平成 25 年 10 月 1 日現在。「病院報告」による。）（単位：人）

区分	医師		歯科医師		薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師
	常勤	非常勤 (常勤換算)	常勤	非常勤 (常勤換算)					
従事者数	832	86.8	27	3.9	130	3	88	2712	221

職種	従事者数（常勤換算）
看護業務補助者	513.9
理学療法士	137.6
作業療法士	75.7
視能訓練士	15.4
言語聴覚士	18.1
歯科衛生士	21.6
歯科技工士	1.0
診療放射線技師	109.1
診療エックス線技師	1.0
臨床検査技師	134.8
衛生検査技師	0.8
臨床工学技士	58.3

職種	従事者数（常勤換算）
柔道整復師	—
あん摩マッサージ指圧師	4.0
管理栄養士	50.8
栄養士	3.0
精神保健福祉士	20.0
社会福祉士	15.0
介護福祉士	25.8
その他技術員	33.6
医療社会事業従事者	16.6
事務職員	527.2
その他の職員	155.0

③ 病院 外来患者数推移（平成 26 年 3 月 31 日現在。「病院報告」による。）（単位：人）

区 分	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
病院外来患者数	1,443,089	1,444,551	1,441,371

(4) 医療相談に関する事務

医療に関して、患者、住民からの苦情、相談、問い合わせに対応するとともに、医療機関、患者、市民に対し、医療安全に関する助言及び情報提供を行っている。

医療相談（苦情）事例数（全 129 件）

診療内容	21	カルテ情報開示	1
接遇	19	プライバシー保護	—
治療・投薬ミス	3	診療拒否	3
主治医とのトラブル	1	医療機関の紹介	3
薬の副作用	7	診療報酬	2
医療広告	2	その他	67

(5) AED トレーナー、練習用人形の貸し出し事業

AED 使用の普及啓発のため、救急救命講習等にご利用いただける AED トレーナー及び練習用人形の貸出しを行っている。

貸出実績：11 件

(6) 医事薬事衛生の普及啓発

医事薬事衛生知識の普及啓発・情報提供のため、出前講座を実施している。

テーマ：「賢い患者になるために」「お薬ミニ講座」

実施回数：14 回

参加者：370 人（自治会等）

(7) 医療確保対策事業

① 後方医療機関確保対策事業

休日夜間におけるより専門的な治療や入院を必要とする救急患者の後方医療機関として4病院（大津赤十字病院、大津市民病院、地域医療機能推進機構滋賀病院（旧社会保険滋賀病院）、琵琶湖大橋病院）が輪番制で対応している。

病院群輪番制患者数

区 分	当番日数	入 院	外 来	合 計
大津赤十字病院	184	1,067	7,481	8,548
大津市民病院	157	504	4,272	4,776
社会保険滋賀病院	24	41	109	150
琵琶湖大橋病院	24	13	160	173
合 計	365	1,625	12,022	13,647

② 休日救急歯科診療事業

大津市歯科医師会の協力を得て、在宅当番制によりゴールデンウィーク、ハッピーマンデー、年末年始を対象に、休日救急歯科診療を実施している。

患者実績

診療日数	延診療医院数	患者数（人） （うち、大津市内）	1日平均患者数（人） （うち、大津市内）
18	21	156 (137)	8.6 (7.6)

③ 大津赤十字志賀病院への支援

1) 医師確保対策事業

北部地域の医療体制の確保を目的として、大津赤十字志賀病院に対し、医師確保に対する費用に対し、補助金を交付している。

2) 大津赤十字志賀病院交通機関確保事業

比良病院の後医療を大津赤十字志賀病院が引き受ける際の要請に基づき、利用者の交通の便を確保するため、最寄りのJR和邇駅から病院までの路線バスの運行に際し、補助金を交付している。

バス乗車人員

(単位：人)

運行日数	乗車人員			1日平均人数
	和邇駅→病院	病院→和邇駅	計	
244	11,061	8,707	19,768	81

④ 小児救急医療支援事業

小児の二次救急医療体制の確保に要する経費に対し、補助金を交付している。

平成17年に交わされた覚書により、大津赤十字病院において平日夜間及び休日の昼・夜間実施しており、大津市医師会及び京都大学医学部附属病院の小児科医師が大津赤十字病院に出向いて診察する共同利用型方式により体制を確保している。

患者実績

(単位：人)

区 分	患者数		
	入 院	外 来	合 計
大津赤十字病院	816	9,638	10,454

2 薬務

(1) 許認可・監視事業

医薬品の安全性確保及び毒物劇物等による危害発生防止を目的として、薬局等に対し年間を通じて立入検査を行い、医薬品等の保管管理及び適正販売の徹底等について指導している。

① 施設数、許可申請等及び監視指導の状況（平成26年3月末現在）

薬局、医薬品販売業及び毒物劇物販売業等の許可・監視指導及び各種届出等の受理事務を行っている。

業種	区分	施設数	申請等件数（件）				立入件数（件）	
			新規許可	許可更新	書換等申請	変更廃止届等		
医薬品	薬局	122	13	22	1	282	51	
	薬局製剤製造販売業	17	1	1	-	3	11	
	薬局製剤製造業	17	1	1	-	3	11	
	店舗販売業	40	8	-	-	88	18	
	卸売販売業	23	1	2	-	10	9	
	薬種商販売業	1	-	-	-	-	1	
医療機器	販売・賃貸業	高度管理医療機器等	96	6	8	1	37	22
		管理医療機器	141	4	-	-	7	20
	販売業	高度管理医療機器等	37	3	1	-	21	7
		管理医療機器	660	36	-	-	20	64
	賃貸業	高度管理医療機器等	-	-	-	-	-	-
		管理医療機器	3	-	-	-	-	-
毒物劇物	一般販売業		91	8	14	1	21	41
	農薬用品目販売業		22	-	1	-	11	11
	特定品目販売業		1	-	-	-	-	-
	業務上取扱者	電気めっき	1	-	-	-	1	-
		金属熱処理	-	-	-	-	-	-
		運送業	-	-	-	-	-	-
		白あり防除	-	-	-	-	-	-
	特定毒物研究者		9	2	-	-	3	4
特定毒物使用者		1	-	-	-	-	-	

② 医薬品一斉監視指導

期 間 平成25年8月21日～10月31日
 対 象 薬局及び医薬品販売業者の店舗
 立入実績（再掲） 62件
 指導件数 35件

③ 毒物劇物一斉監視指導

期 間 平成25年5月17日～10月31日
 対 象 毒物劇物のみの専業営業者施設
 立入実績（再掲） 19件
 指導件数 9件

④ 医療機器一斉監視指導

期 間 平成25年8月28日～11月22日

対 象	高度管理医療機器販売・賃貸業及び管理医療機器販売業
立入実績（再掲）	65 件
指導件数	0 件

⑤ 違反発見等に対する措置

監視、通報等により違反（疑い）を発見した場合は、報告書等を徴収し、必要に応じて行政処分を行っている。

- ・医薬品の無許可販売 1 件（始末書 1 件、報告書 1 件）

⑥ 医薬品等の試験検査

1) 無承認無許可医薬品の試買調査

いわゆる健康食品による健康被害の発生を防止することを目的として、管内の店頭にて販売されている製品について試買調査を実施している。

- ・強壯用健康食品 1 件（検出されず）

検査項目：クエン酸シルデナフィル、塩酸バルデナフィル、タダラフィル

- ・瘦身用健康食品 1 件（検出されず）

検査項目：チロキシン、トリヨードサイロニン、フェンフルラミン、
N-ニトロソ-フェンフルラミン、シブトラミン

2) 医薬品の収去検査

管内の薬局及び医薬品販売業者の店舗に在庫として保管している医薬品等について監視を行い、薬事法第 70 条第 1 項に規定する医薬品等に該当する疑いのあるものを収去し、試験検査を実施している。

- ・解熱鎮痛薬（内服） 4 検体（適合）

⑦ 薬物乱用に関する事業

シンナー等乱用者からシンナー等の入手を断つために、少年センター及び警察と合同でシンナー等取扱施設に対して一斉立入調査を実施している。

立入施設数：塗料店、ホームセンター等 20 施設

3 医療福祉

急速な少子高齢化が進行する中であって、市民が住み慣れた地域で最期まで暮らし続けるための仕組みを確立するために、10年後を見据えた医療福祉におけるあるべき姿を示した「大津市医療福祉ビジョン」を策定した。今後はこのビジョンの実現に向けて、関係機関、地域、行政等が課題や目標を共有し、それぞれの立場で、また時には協働により取り組みを進めていく。

(1) 大津市医療福祉推進協議会の開催（3回）

医療福祉関係者や市民の代表者が本市の現状や課題を議論し、「医療福祉ビジョン」策定の検討をはじめ、医療福祉の推進に向けての課題や方向性等を協議した。

委員数：15名

開催月：平成25年4月、7月、8月

(2) 大津市医療福祉ビジョンの策定（平成25年10月）

本市における医療福祉の現状や課題を踏まえ、10年後の目指す姿とそこへ到達するための方針や方策を示した「大津市医療福祉ビジョン」を策定した。

体裁：A4判39頁

(3) 大津市医療福祉シンポジウムの開催（平成26年3月）

「最期まで住み慣れた地域で暮らしたい！をかなえるためには？」をテーマに、ノンフィクション・ライター中澤まゆみ氏の基調講演や医療福祉関係者によるパネルディスカッションを実施し、在宅医療、在宅ケアについての市民啓発に努めた。

会場：ピアザ淡海ホール

参加者：370名

(4) 医療福祉関係者合同研修会の開催（前期平成25年10月、後期平成26年2月）

医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、病院地域連携担当、介護支援専門員等を対象として、多職種協働による在宅チーム医療の必要性について理解を深め、各エリアにおいて在宅医療を推進するリーダーを養成した。

会場：和邇すこやか相談所（北部）、大津市民病院（中部・南部）

参加者：前期76名、後期74名

(5) 在宅療養、在宅看取りについてのエリア別研修会の開催（平成26年3月）

市民、関係者を対象として、在宅療養、在宅看取りを実際に経験した家族、支援者によるパネルディスカッション等を通して、在宅医療の可能性について共に理解を深めた。

会場：坂本市民センター（北部）、膳所市民センター（中部）、瀬田東市民センター（南部）

参加者：3会場計137名

(6) 在宅療養啓発リーフレットの作成（平成26年3月）

病院から在宅へのスムーズな移行を支援するため、在宅医療、在宅療養の仕組みについてのリーフレットを作成した。

体裁：「知っておきたい医療・福祉のこと」（A4判片見開き6頁）

「在宅で療養を始める方のために」（A4判両見開き8頁）

部数：各3,500部

4 地域連携クリティカルパス

地域連携クリティカルパスとは、急性期から回復期、維持期まで切れ目のない医療を提供するために一貫して地域の医療機関が共有して活用できる診療計画書のことであり、これにより医療の標準化、効率化及び質の向上などの効果が期待される。

本市では平成 21 年度に滋賀県の委託を受け、地域連携クリティカルパスの開発・推進事業を実施しており、現在、脳卒中と糖尿病のパスについて取り組んでいる。

(1) 脳卒中地域連携クリティカルパス運用状況

(ア) 用件数

区分	平成 25 年度	平成 22 年度からの (第 3 版) 累計
運用件数	67 件	328 件

(イ) 性期病院からのパスの連携先 (平成 25 年度 67 件)

- ・急性期病院回復リハビリ病棟 : 8 件
- ・回復期リハビリ病院 (棟) : 23 件
- ・療養型病院 : 28 人
- ・老人保健施設 : 0 件
- ・在宅 (かかりつけ医) : 1 件
- ・バリエーション : 7 件

(2) 糖尿病地域連携クリティカルパス運用状況

区分	平成 25 年度	平成 21 年度からの 累 計
新 規	8 件	149 件
継 続	94 件	329 件
<再掲>バリエーション	1 件	10 件
合 計	102 件	478 件

5 地域リハビリテーション

在宅療養中の脳卒中維持期の患者、難病患者、障害者等が、地域で安心して生活できるよう、在宅医療・介護の現場でリハビリテーションに携わる専門職や関係機関・団体（以下「関係機関等」という）の支援と関係機関等の連携のシステムを整備することを目的として、大津市地域リハビリテーション支援体制整備事業を実施している。

(1) 大津市看護・介護・リハビリ合同研修会

在宅・維持期のリハビリテーションに関わる専門職の支援と連携を目的に研修会を実施している。

開催日	テーマ・講師	参加人数
平成 25 年 6 月 18 日	「体験・実践！抱え上げない移乗介助」 講師：伊庭 新也氏 (理学療法士 介護老人保健施設シニアセンターティファニー)	38 人
平成 25 年 9 月 8 日	「体験・実践！福祉用具を使った移乗介助」 講師：松岡 昌己氏 (理学療法士 リハビリデイサービスいきいき下田)	20 人
平成 25 年 11 月 15 日	「パワーリハビリテーションって何ですか？」 講師：川崎 大輔氏 (健康運動指導者 デイサービスセンター国分)	17 人
平成 26 年 3 月 8 日	「抱え上げない移乗介助 BASIC」 講師：大橋 潤一(理学療法士 保健総務課)	22 人

(2) 市民公開講座

専門職のみでなく市民に向けて、「リハビリテーション」の啓発として公開講座を実施している。

開催日	テーマ・講師	参加人数
平成 26 年 1 月 19 日	「車いすから起こす新しい風」 第 1 部 講演、第 2 部 車いすシーティングセミナー 講師：山崎 泰広氏 (シーティングスペシャリスト 株式会社アクセス インターナショナル代表 順天堂大学整形外科学講座非常勤講師)	57 人

(3) 地域リハビリテーションサポーター会議

年度毎にテーマを決めて関係の委員を招聘し、地域リハビリテーション連携を実践するワーキンググループとして実施している。

日時	内容	参加人数
平成 25 年 7 月 26 日	第 1 回会議「車いすから起こす新しい風」	6 人
平成 25 年 10 月 16 日	第 2 回会議「車いすから起こす新しい風」	5 人

(4) 地域リハビリ講師派遣事業

地域の介護施設、及び地域でリハビリテーションに携る看護・介護職員、介護支援専門員等に対して、リハビリテーションの啓発や技術支援を目的に実施している。

また、介護予防の普及啓発を目的に市民に対して出前講座を実施している。

実施回数	延べ参加人数
21 回	664 人

(5) 集団訓練支援事業

介護・福祉施設等の要請に応じて、事業担当の理学療法士が各施設を定期的に訪問し、集団訓練(体操)を実践しながら、施設利用者・従事者に対してリハビリテーションの啓発を行う。

訪問施設・事業所	延べ実施回数
10 施設・事業所	129 回

(6) リハビリテーション相談事業

介護支援専門員・介護職など、在宅介護・リハビリテーションに関わるすべての職種に対して、リハビリテーションに関するマネジメントや技術に関する支援を行い、在宅・維持期におけるリハビリテーションの啓発を行う。

延べ訪問回数
93 回

(7) 自助具普及支援事業

市民の参加による自助具製作ボランティアグループを支援することにより、市民レベルでの地域リハビリテーションの推進を図ることを目的に、技術協力や運営に関する助言を実施している。

(8) 広報誌「季刊リハビリおおつ」発行

年 4 回約 1,600 部

6 献血

(1) 献血率の年次推移

(単位：%)

区分	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
滋賀県	3.3	3.3	3.4	3.3	3.3
大津市	1.2	1.2	1.2	1.1	1.1

(2) 区分別献血状況

区分	人口 (人)	献血可能人口 16 歳～69 歳 < 献血率 (%) >	献血者数			
			全血献血		成分献血	
			目標 (人)	実績 (人)	目標 (人)	実績 (人)
滋賀県	1,416,952	1,038,331	41,870	35,551	12,540	11,746
	< 3.3 >	< 4.6 >				
大津市	341,468	234,821	6,380	3,855	—	—
	< 1.1 >	< 1.7 >				

平成 25 年 10 月 1 日現在 滋賀県推計人口、滋賀県薬務感染症対策課 (資料)